



入船だより

横浜市立入船小学校
校長 中村 公俊
学校だより 1 月号
令和 5 年 1 月 10 日発行

今年もよろしくお願ひいたします

学校長 中村 公俊

新年 あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

昨年はコロナ禍から少しづつ明るい兆しが見え始め、できることが増えてきた年でした。今年
は、ぜひ、コロナが収束し、生活様式等、以前の姿に戻ってくれることを切に願っています。

さて、去年の後半は、一昨年度まではできなかったイベントや行事も、制限のかかる中ではあり
ましたが、少しづつ行なうことができました。

まずは、地域のイベントです。「自転車教室」や「グランドゴルフ大会」は、3年ほど中止が
続いていました。今回、潮田小をお借りしてですが、潮田東部地区の方々の努力により、行
うことができました。当日は大勢の潮田小、入船小の児童が参加し、大盛り上がりでした。

校内のボランティア活動も少しづつ行えるようになってきました。保護者の方を中心とした
読み聞かせ活動「お話玉手箱」も、6月より再開することができました。子どもたちは久々の
読み聞かせに興味津々で、毎週水曜日の朝を楽しみにしています。1・2年生の芋ほりにも地域
の方がお手伝いに来てくださいました。4年生が「入船の森をきれいにしたい」と声を上げた
ところ、後援会の役員の方々が当日、お手伝いに来てくれ、大変助かりました。このような活動は、
子どもたちにとって、とても良い経験になります。大人の力のすごさや、地域の人たちのやさ
しさを感じ、やがて地域を愛する気持ちへとつながります。また、学校の周りの掃除など、私
の存じあげないところで、ご厚意で学校に協力していただいている方もいらっしゃいます。
本当ありがとうございます。この場を借りて、お礼を申し上げます。

学校行事も少しづつ、できることが増えました。全校遠足は、「たてわりウォークラリー」と
形を変え、たて割り班で学区内を歩いてまわることで地域を知り、他学年と仲よくなりました。

「いりふねコンサート」も、ペア学年の発表をお互い聴き合い、3年ぶりに保護者の方に見て
もらうことができ、どの子も満足気でした。

残り3か月、できる
ことをできる範囲で
できる限り行い、子
どもたちの成長につ
なげていきたいと思
います。今後ともぜ
ひ、ご理解とご協
力を
お願ひいたします。



入船の森をきれいに



たてわりウォークラリー